







優れた耐薬品性、耐久性、作業性

ボウジンテックス VEは、エポキシ、ポリウレタン、MMAなどの塗り床材で解決できなかった防食性を可能にした塗り床材です。特に耐酸性、耐アルカリ性に優れるので、薬剤を使用する工場床、食品工場床、厨房床に効力を発揮します。さらにガラス繊維の積層により引張り、靭性、耐衝撃性等の機械的強度が大きく向上します。また、環境配慮型としての低臭タイプは、市街地での施工、食品工場や厨房の施工にも適します。



特長・用途・

特長

- ■耐薬品性、特に耐酸性、耐アルカリ性に優れる
- 2 硬化性に優れ、工期短縮が可能
- 3機械的強度が高く、強靭で耐久性に優れる
- 4 作業性に優れる
- 5 厚膜タイプの高性能仕上げ
- **⑥** 低臭タイプは、においの問題を解決

用途

- □ 強靭で長期耐久性を必要とする一般工場、倉庫
- 2 耐薬品性が要求される化学薬品工場や印刷工場
- 4 工期短縮が必要な厨房
- ⑤長期耐久性が必要な工場床



0





茂惞丄場

工場・印刷工場 自動車修理

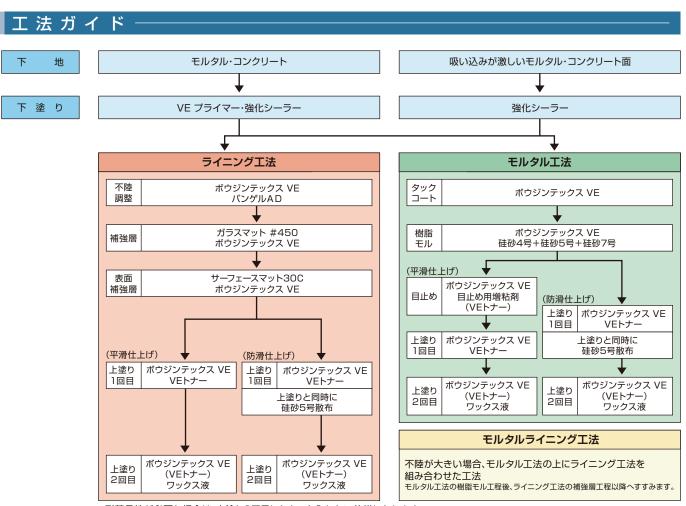
厨房

性 能 耐薬品性(抜粋)

JIS A 5705に準じる、48時間スポット試験

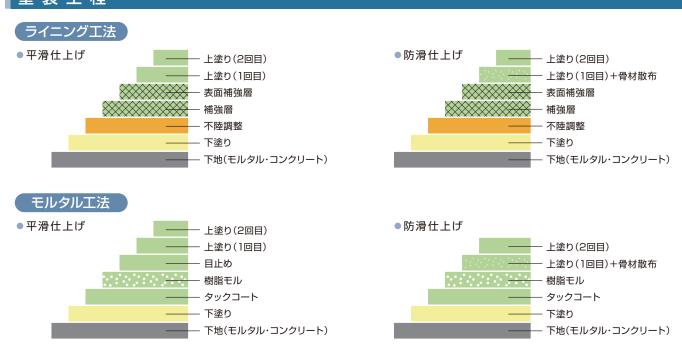
がある。 のは、その時間入り									I II-0-05/C		
種類	薬 液		製 品 名			種	薬液		製 品 名		
	名 称	濃度 (%)	VE-04 (一般品)	VE-12 (低臭)	VE-30 (耐溶剤)	類	名 称	濃度 (%)	VE-04 (一般品)	VE-12 (低臭)	VE-30 (耐溶剤)
アルカリ	水酸化ナトリウム	10	0	0	0	有機酸	蟻酸	30	0	0	0
		20	0	0	0		クエン酸	30	0	0	0
		30	0	0	0		酢酸	30	0	0	0
	水酸化カリウム	10	0	0	0		乳酸	30	0	0	0
		20	0	0	0	溶	アセトン	_	×	×	×
		30	0	0	0		メタノール	_	0	0	0
	アンモニア水	25	0	0	0		IPA	_	0	0	0
	塩酸	10	0	0	0		酢酸エチル	_	0	×	0
		20	0	0	0		トルエン	_	0	0	0
無機酸		30	0	0	0		メチルエチルケトン	_	0	×	0
	硝酸	10	0	0	0		ガソリン	_	0	0	0
		20	0	0	0	消毒液	過酸化水素水	10	0	0	0
		30	0	Δ	0		次亜塩素酸ソーダ	5	0	0	0
	硫酸	30	0	0	0		ホルマリン	30	0	0	0

BOUJINTEX VE



※耐薬品性が必要な場合は、上塗り2回目にトナーを入れない仕様になります。

塗装工程



塗装 仕様

材料の種類

一般名称	用途およ	び特長		荷姿(kg)	
	コンクリート用		ボウジンテックス	16	
下塗材	コングリード用		ボウジンテックス	15	
	金属用		//	金属用プライマー	18
	一般品(耐酸・耐アルカリ)	夏·春秋用	//	VE-04	18
		冬用	//	VE-06	18
		高粘度	//	VE-00	18
中塗材·上塗材	耐熱·耐溶剤	中粘度	//	VE-30	18
		VE-00粘調用	//	VE-10	18
	低臭タイプ	一般品	//	VE-12	15
	耐クロム酸		//	VE-97	20
			パーメックN		1
硬化剤	工法および使用樹脂により、右の3種	重より選択	硬化剤328E		1
			BP0-50	1	
硬化促進助剤	 硬化促進に使用		促進剤AN		1
硬化促進剤	版化促進に反角		促進剤Co	1	
硬化遅延剤	硬化遅延に使用		硬化遅延剤	1	
ワックス液	上塗硬化完結用		ワックス液	1	
着色剤	着色用	·	VEトナー(各色)	4	
増粘剤	増粘剤		パンゲルAD	13	
ガラス繊維	中塗補強層	一般用	#450ガラスマッ	1m×67m	
ノリンへ 個以市上	表面補強層		サーフェースマット	1m×100m	
骨材	モルタル工法用・防滑仕上げ用		硅砂4号·5号·6号	25	

注意事項

- 1. この塗料には労働安全衛生法の第2種に該当するスチレンが含まれているので、換気には充分注意し、吸引防止のために有機ガスマスクやゴーグル等の保護具をご使用ください。 2.施工時の温度により、硬化剤、促進剤の添加量が異なります。各塗料の硬化特性をご参照ください。
- 3.下塗りの塗付量が下限値以下の場合は剥離の可能性があります。
- 4. 硬化剤と促進剤を使用する場合は、まず主剤に促進剤を添加し充分撹拌後、硬化剤を添加してください。 (爆発的な分解を起こし危険ですので、同時添加は決して行わないでください。)
- 5.硬化剤をウエス等で拭き取った場合は、水を張った容器に廃棄してください。
- 6.目に入った場合は、多量の水で洗い、速やかに医師の診断を受けてください。
- 7.皮膚に付着した場合は速やかに石鹸水で洗い落とし、痛みや外観に変化がある時は医師の診断を受けてください。
- 8.硬化剤、促進剤を添加した塗料が残った場合は、容器に水を張り硬化させてください。そのままにしておくと、自然発火の原因となります。
- 9.材料の保管、取り扱いは、消防法、労働安全衛生法に基づき充分な管理をお願いします。
- 10.静電気をきらう床には施工しないでください。
- 11.塗装による臭気で、近隣に迷惑を掛けることがありますので、充分に配慮をお願いします。
- 12.化学物質過敏症の人は、塗料に含有している化学物質(VOC等)に過敏に反応される可能性がありますので、充分ご注意ください。
- 13.製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。



ID: @521kgmun





本

社 ∞ 532-0006 大阪市淀川区西三国4-3-90

☎ (06) 6391-3151 FAX (06) 6393-1101 大阪支店 ☜532-0006 大阪市淀川区西三国4-3-90

西日本開発部 532-0006 大阪市淀川区西三国4-3-90

東京支店 ® 101-0032 東京都千代田区岩本町1-4-5 NS岩本町ビル

東日本開発部 ѿ 101-0032 東京都千代田区岩本町1-4-5 NS岩本町ビル

北関東支店 ☜ 348-0038 埼玉県羽生市小松台2-705-22 中部支店 〒486-0815 愛知県春日井市十三塚町3-6

広島支店 ® 734-0022 広島市南区東雲1-13-16

福 岡 支 店 ® 811-2304 福岡県糟屋郡粕屋町仲原2628-1

仙台営業所 ® 984-0042 仙台市若林区大和町1-22-36

札幌営業所 ® 007-0850 札幌市東区北 50条東 2-3-12 I 場 本社・埼玉・中部・広島・福岡

水谷HPは

☎ (06) 6391-3401 FAX (06) 6391-3456

☎ (03)3865-8177 FAX (03)3865-8760

☎ (03) 3865-8177 FAX (03) 3865-8760

☎ (048) 563-0355 FAX (048) 563-5124

2 (0568) 85-3551 FAX (0568) 85-3556

☎ (082) 284-6556 FAX (082) 283-0017

☎ (092) 611-5731 FAX (092) 621-2301

☎ (022) 782-6770 FAX (022) 232-6871

☎ (011)702-5556 FAX(011)702-5557

特約店